



1月の生活目標：めあてをもって体力をつけよう（マラソン大会に向けて）

特別活動参観日：1月16日（木）

四万十町小小・小中連携教育協議会の研究の柱ともなっている特別活動を今年度から参観授業としました。初めての学級活動の様子はいかがでしたか。（1・2年生は、他教科実施ですみません）3年生・5年生・6年生は学級活動（3）を、4年生は児童主体による学級活動（1）の授業でした。また、その後の取組等の話をお子さんから聞いてみてください。

PTA 講演会は、「命をつなぐ避難所運営～災害と人権～」と題して、山崎 水紀夫 さん（さんすい防災研究所）に1時間程度と短い時間でしたが、これまで被災地に出向き、実際に体験したなども交えながらお話しいただきました。お話の中で、大切なことや課題等お聞きしたことを少しご紹介します。



山崎 水紀夫 さん

【地域力が最大の防災マニュアル】

◇地域力を高めるキーワード

・地域の怖いおじさん ・地域のお祭り ・ご近所の助け合い「隣組・連・結」 ・女性と若い世代の参加

◇活動のハードルを下げる⇒担い手不足・地域衰退⇒多少の失敗は目をつぶることも大切

◇俯瞰しながら、バランスよく見ること

◇「地域は人材の宝庫」

・町内会や自主防災の一部の人が汗をかく？地域のみんなで乗り切る？

◇避難所は「お客さん」をつくると失敗

・何もしない人ほど不平と不満を拡散する⇒100人の避難者ではなく100人の職業経験者である

・多様な人の人権を守っていく

・職員の人権も守っていく（思いやり）

職員の疲弊、疲弊による受援力の低下（昨年2月10日の時点で実際輪島市の市役所職員の90%が災害後1日も休んでいない状態）

◇学校との連携

・日常から地域学校協働本部（本校なら「東又の子どもを守る会」）の活動が活発な学校は避難所運営の評価が高かった

◇災害時犠牲になりやすい・・・高齢者・貧困者・障害者

・防災を考える上で福祉の視点を外した考えはない

◇避難所運営の課題

・ジェンダーの視点 ・女性の役割 ・プライバシーのない生活の長期化 ・高齢者の健康維持 他

講演会の後山崎さんが、保護者の皆さんが自主的にパイプ椅子の片付けをしてくださる姿を見て、「この地域は避難所運営も協力してできそうですね」とお褒めの言葉をいただきました。さすが、東又小PTAです！

参観授業の様子



アイザック先生による外国語活動：1年生



司会グループが話し合いを進めます：4年生

カッコいい4年生になるために：3年生



6年生に向けて今できること：5年生



なりたい中学生に向けて頑張ることを決める：6年生



成岡先生による言葉遊び：2年生

東又保育所・興津保育所年長組さんの一日入学

「ようこそ東又小学校へ」

1月23日(木)7名のお友達が一日入学に来てくれました。始めの会や終わりの会、学校案内は、5年生の仕事です。これから少しずつ6年生から学校行事に関わる仕事を受け継いでいきます。1年生は東又祭りで発表した劇「大きなかぶ」とダンスを披露しました。その後、「だるまさんがころんだ」を一緒に楽しみました。学校内では、1番幼い1年生ですが、この時は行動や発言がとてもお兄ちゃん・お姉ちゃんに見え、これまでの成長を改めて感じました。遊んだ後は、お手紙と育てた朝顔の種をプレゼントしていました。年長組さんの皆さんが入学を楽しみにしてくれると嬉しいです。



5年生とご対面！ドキドキしているかな？



きちんと座って1年生の発表を見えています



「校内めぐり」保健室は何をしたらいいかな？



1年生のノリノリダンス！披露